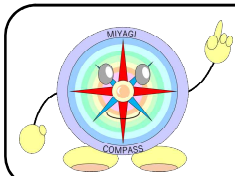


## 単元（題材）の個別の目標を考える

児童生徒の実態と関連する各教科等の目標及び内容，単元（題材）の目標を踏まえて，単元（題材）で達成させたい児童生徒の目標を設定します。



単元（題材）の個別の目標や評価規準を設定する際にも，「**目標・評価規準設定シート**」，（p. 2-46）を活用することができます。

## 単元（題材）の個別の評価規準を考える

単元（題材）の個別の目標を踏まえて，単元（題材）の個別の評価規準を設定します。目標が達成される**具体的な姿**を考え，学習評価を行うための評価規準を設定します。

### 単元（題材）の個別の目標及び評価規準の設定例

例：小学部 生活単元学習「目指せ！お買い物達人！（買い物学習）」

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
単元の個別の目標	買い物の手順を理解し，金銭を用いて一人で買い物を <u>することができる</u> 。	レジで店員と買い物に必要なやり取りを一人です <u>ることができる</u> 。	普段関わりの少ない人と関わることの緊張を乗り越え，教師の促しがなくても進んで買い物を <u>しようとする</u> 。

単元の評価規準→



	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の個別の評価規準	買い物の手順を理解し，金銭を用いて一人で買い物を <u>している</u> 。	レジで店員と買い物に必要なやり取りを一人です <u>している</u> 。	教師の促しがなくても進んで買い物を <u>しようとしている</u> 。

**単元（題材）を終了した際には，扱う教科等の評価も行います。単元（題材）を通して，児童生徒が身に付けた力について，扱う教科の目標及び内容で分析し，評価することが大切です。** **Step 5**（p. 2-29）を参考にしてください。

p. 2-10 から紹介している「教科別の指導」の目標や評価規準の設定を参考にし，教科等の評価も行うことができるようにしましょう。

